



Japan Yunnan
Friendship Association

彩雲の南

第2号

編集・発行

日本雲南聯誼協会事務局 担当: 矢野裕美子

〒193-0834 東京都八王子市東浅川町 548-1

TEL(0426)69-1677, FAX(0426)69-1678

<http://www.soyi.co.jp/jyfa>

2000年10月10日発行

日本雲南聯誼協会主催

第一回雲南交流の旅

8月6日～8月13日

交流の旅を終えて

会長 初鹿野惠蘭

この度の交流の旅には雲南の魅力を知っていた
べく観光以外に大きな目的がありました。

一つは 6 月に設立大会への出席が困難であった
雲南政府の方々に接見し、本協会の意向を伝え協
力をお願いすること。また理事を中心とした企業
間交流推進活動の一環として企業面談や交渉の
サポートをすること。さらに協会の大きな活動の
柱の一つである貧困児童教育支援の訪問です。
参加者のご協力もあり、それぞれが成功に終わっ
たと言えます。特に教育支援活動では継続的に支
援を続けていきたいという積極的なご意見も頂
戴出来ました。

雲南政府からは芸術交流に対する深い関心が示
され、強力な支援をするという有り難い申し出が
あり、協会としても非常に喜ばしいことです。今
回の旅の成果は今後の活動の大きな励みとなる
と信じています。



タイ族とのふれ合い



チンボー族と輪になって踊った



雲南省府副議長 江巴吉才氏を囲んで対談



滇池の景色



雲南省府関係者と旅行参加者

《旅行記》 ♪ 彩雲の南を訪れて ♪

事務局長 永井 廣治

雲南の首都昆明につく早々、雲南海外交流協会の歓迎会に招かれた。地元テレビ局や新聞社の取材の中、和やかに対談を行なった。その後の晚餐会にはJASの福場支店長と高津氏が同席し会は一層盛り上がった。

翌朝、マイクロバスに揺られる事2時間半、名勝地“石林”へ到着。日本では見られない雄大な石峰の景色を目のあたりにし、自然の偉大さをあらためて感じた。

雲南には25もの少数民族が暮らす。昆明市のほど近くにある雲南民族村へ出かけた。80km²の広大な敷地の中で伝統儀式、歌舞、楽器演奏などのパフォーマンスが繰り広げられてる。花も有名なここ雲南は世界各地へ輸出していると聞く。名物の花市場では活気ある雰囲気存分に味わえた。そのあと、中国の実際の生活を垣間見ようと会長の知人宅へお邪魔する。一般の旅行ではこのような事は体験できないだろう。

昆明からは50分のフライトで中国随一の秀峰、玉龍雪山を背景にいただく古都麗江へ行く事が出来る。現在でも街には美しい水路が流れ、数百年変わらない町並みを残して旅人の心を癒してくれている。早速、ロープウェイで標高3300メートルの雲杉坪へ行き山を間近に見ようとしたが悪天候で断念。民族衣装を着ての記念撮影や乗馬を楽しむ。午後は山が奇麗に映るという玉泉公園の池や東巴博物館を見学、旧市街を歩き、名物米麺を食べ、納西族の伝統音楽に酔いしれた。

中国最西南に位置する徳宏洲は三方をミャンマーに囲まれ、亜熱帯性気候の山深い美しい所だ。地域をあげての歓迎ぶりに心が温かくなっていく。いよいよ更に奥地の小学校へ向かう。やっとの思いで到着した我々は村人総出の出迎えに、来て本当に良かったと実感。支援金と学用品の贈呈後、皆で輪になって踊った。体は疲れていたがまさに心が一つになるような、すがすがしい思いでいっぱいとなり宿へ戻った。



麗江の旧市街



楽しいバスでの移動



石林の雄大な景色

翌日、昆明市内の西山森林公園へ向かう。筑竹寺は玉案山の山腹に建ち、極彩色の五百羅漢像は必見。石畳を更に登って観た三清閣の龍門石窟は彫りと色彩がそれは見事なものだった。ロープウェイから昆明湖を一望し宿へ戻った。

最終日には緑豊かで市民の憩いの場となっている翠湖公園でひとときをすごし空港へ向かった。思いがけずJASの社員に見送りをしていただき、ひとしおの感慨を抱いた。思い起こせば、訪問先では皆から精一杯のもてなしを受け、温かい心遣いを感じずにはいられなかった。今回の訪問は楽しむ観光だけではなく、人とのつながりは何かを今一度考えさせてくれる交流がそこにあったように思う。

雲南省交流の旅に参加して

長井 富子

1996年の麗江大地震の際、息子裕泰が初鹿野恵蘭さんらと共に募金活動をし、被災地を訪れ、悲惨な現状に直面しとても心を痛めて帰国しました。しかし、「復興した麗江を必ず見に来る」という恵蘭さんとの約束を果たす事なく息子は昨年9月、命を閉じました。息子が果たせなかったその約束を果たしたいという願いが私の中にあり、今回の旅に参加しました。

私が一番訪れたかった麗江の町並は丸みを帯びた敷石が温かさと素朴さを感じさせ、想像した通りの場所でした。震源の地域は新しいビルが建ち並び、広い道路ができ、完全に復興していました。私は、裕泰の写真を窓際に置き「よかったね」と話しかけました。麗江県教育委員会主任のお招きを受けたところ、息子が訪れた事又他界した事もお存知であり、温かな励ましの言葉を頂き感激してしまいました。夜は、音楽の夕べを鑑賞した時の人々の穏やかな顔や雪山からの清流がやさしい音色と共に今でも脳裏に焼きついています。

又、徳宏洲ではタイ族の家庭を訪問し、珍しい食事や果物をごちそうになりました。その後の小学校慰問では村中の人で迎えてくださいました。子供達にノートと鉛筆を渡し、私は手作りの和紙の壁掛けとブローチを贈りました。

民族衣装を身に着けた音楽隊の演奏と歌の披露の後、私達からは「さくら さくら」「母さんの唄」をプレゼントしました。夜の月明りの中で一つの輪になり村人達と一緒に踊って澄んだ目、純粋な心に触れ、日本では味わう事の無い気持ちで一杯になりました。

私は子育ても終わり、仕事もそろそろ引退の年になります。無意味に年を重ね過ごすのではなく出来る事があれば微力ながらお手伝いをしたいと思いながら帰路に着きました。

滞在中お世話になった政府の方々、恵蘭さんのお友達・親戚の方々本当に有り難う御座いました。又お目にかかれる事を楽しみにペンを置きます。

裕泰さんに対しあらためてお悔やみ申し上げます。天国で今回の旅行の事をきっと嬉しく思っていると思います。旅行記を書いていただいた富子夫人にお礼を申し上げます。

旅の思い出に少数民族を描く



上の2枚の絵は今回の旅に参加した岡本瑳也子さんから協会へ送られたスケッチ画です。とても色鮮やかな色彩をお伝えできなくて残念です。岡本さんは専務理事である杉谷先生の水墨画教室で絵を学んでいらっしゃる。素敵な絵を有り難うございました。

教育支援活動報告

協会の大きな目的の一つ、教育支援活動として徳宏州瑞麗市の小学校を訪問した。ここは街道から4kmも離れた山の中にあり道程は容易でなかったが無事到着した。校長先生や副市長、チンゴ一族の方々の歓迎を受け、音楽や合唱の交換の後、小学校にて贈呈式を行なった。協会より支援金15万円(理事より10万円、会員より1万円、協会より4万円)と、鉛筆200本、ノート300冊が渡されると大きな拍手が沸き起こった。班養小学校は児童数が148名、教員は13名の小さな学校だ。日本人がこの地を訪れたことは今までになく、今回ここへ寄付できたのも副州長の王冲氏のご尽力によるものであり、協会としても何かの強い縁と感じた。会員からはこれからはずっと支援活動を続けていきたいという嬉しい意見が聞かれた。寄付金の使途については小学校から協会へ報告がされることになっているのでその都度皆さんへお知らせしていく。



代表として学用品を手渡す桂理事と握手する小学校長



贈呈式を見守る参加者と王冲氏

迪慶州蔵文族中学校訪問

この中学校は唯一チベット語と標準語の両方を教える学校で教育を非常に熱心に行なっている。しかしまだ資金不足により生徒を十分に募集出来ていない。この学校へは全国統一試験に合格した者が成績の良い順から入れるシステムだ。中国の大きな問題は多数の民族を、統一した言語で教育する事であり、標準語と民族言語の両方を扱える優秀な人材は非常に貴重な存在である。今回協会が支援を行なったのはこうした人材を世に一人でも多く送り出そうとしている教育方針に共感したからである。彼らは明確な教育方針と計画を定め、各生徒の実態に合わせた緻密な教育プログラムを立てている。全ての生徒たちが優秀な成績だけでなくしっかりとした一人前の人間として社会に役立つように教師も日々努力している。卒業生は医学や専門技術方面などの学校へ進み進学率は90%以上である。しかしこれに満足せず、もっと多くの子供がレベルの高い学校を目指す学校となるよう皆が努力している。創立後5年がたち政府の支援で一定の設備も整ってきたがこれからも進学率を90%以上達成できるようにと全校一同頑張るとの事だ。会長および板尾理事は協会としてこの中学校に机と椅子を50セット寄贈し、今後も応援していきたいと考えている。



会長と板尾理事が訪問した迪慶州中甸チベット族中学校

教育支援活動報告

協会の大きな目的の一つ、教育支援活動として徳宏州瑞麗市の小学校を訪問した。ここは街道から4kmも離れた山の中にあり道程は容易でなかったが無事到着した。校長先生や副市長、チンボ一族の方々の歓迎を受け、音楽や合唱の交換の後、小学校にて贈呈式を行なった。協会より支援金15万円(理事より10万円、会員より1万円、協会より4万円)と、鉛筆200本、ノート300冊が渡されると大きな拍手が沸き起こった。班養小学校は児童数が148名、教員は13名の小さな学校だ。日本人がこの地を訪れたことは今までになく、今回ここへ寄付できたのも副州長の王冲氏のご尽力によるものであり、協会としても何かの強い縁と感じた。会員からはこれからはずっと支援活動を続けていきたいという嬉しい意見が聞かれた。寄付金の使途については小学校から協会へ報告がされることになっているのでその都度皆さんへお知らせしていく。



代表として学用品を手渡す桂理事と握手する小学校長



贈呈式を見守る参加者と王冲氏

迪慶州藏文民族中学校訪問

この中学校は唯一チベット語と標準語の両方を教える学校で教育を非常に熱心に行なっている。しかしまだ資金不足により生徒を十分に募集出来ていない。この学校へは全国統一試験に合格した者が成績の良い順から入れるシステムだ。中国の大きな問題は多数の民族を、統一した言語で教育する事であり、標準語と民族言語の両方を扱える優秀な人材は非常に貴重な存在である。今回協会が支援を行なったのはこうした人材を世に一人でも多く送り出そうとしている教育方針に共感したからである。彼らは明確な教育方針と計画を定め、各生徒の実態に合わせた緻密な教育プログラムを立てている。全ての生徒たちが優秀な成績だけでなくしっかりとした一人前の人間として社会に役立つように教師も日々努力している。卒業生は医学や専門技術方面などの学校へ進み進学率は90%以上である。しかしこれに満足せず、もっと多くの子供がレベルの高い学校を目指す学校となるよう皆が努力している。創立後5年がたち政府の支援で一定の設備も整ってきたがこれからも進学率を90%以上達成できるようにと全校一同頑張るとの事だ。会長および板尾理事は協会としてこの中学校に机と椅子を50セット寄贈し、今後も応援していきたいと考えている。



会長と板尾理事が訪問した迪慶州中甸チベット族中学校

新しい理事のご紹介

本協会は多くの会員の方々と役員の方々に支えられて活動しております。この度大変嬉しい事に新しい役員として2人の理事を協会に迎える事が出来ました。

1人目は北原茂実様です。八王子の北原脳神経外科病院の院長であり、中国の看護婦を招聘するなど今まで中国とは医療技術を通じて交流を深めていらっしゃいました。協会と協力しながら今後ますます意欲的に医療技術面での活動をしていかれるそうです。2人目は(株)日本エアシステムの顧問でいらっしゃる小田原眞一様です。前任の羽田空港の空港長時代から中国との交流に力を注いでこられ、この協会にもっとも期待する方のお一人です。

お2人の理事の方を迎え、協会にとってさらに大きな力となっただけだと確信しております。これからもますます皆様の期待に応えられるよう頑張っていきます。新しい理事ともどもよろしくお願い致します。



役員会参加者と北原氏(前列右)

教育支援の嬉しいお知らせ

会員の福原一美様より雲南の小学生へ野球道具10セットのご寄付がありました。これは会長が6月に雲南へ行った際に渡してきました。また、会員である中村公一・有里子ご夫妻より貧困地域の学校建設資金として150万円もの寄付がありました。以前北京で1年間暮らした経験のあるご夫妻は中国人の方々に色々な面で大変お世話になったと言う事です。

それ以来中国の方々に何か役立つ事が出来ないものか、という考えを胸に温めていたところ新聞の記事でこの協会の事を知り会員になりました。協会の教育支援活動に対し深いご理解をいただき、中村ご夫妻の強い希望である小学校建設へ向け本協会は今後の経過報告を皆様へもお知らせいたします。こんなに早く大きな支援活動が行なえる事を大変嬉しく思います。福原様、中村ご夫妻に深く感謝を申し上げます。

中国語教室開講



楊先生の授業風景

9月1日に中国語教室が始まりました。講師には北京出身の楊森さんを迎え、発音を中心に映画や音楽鑑賞を交えて一ヶ月に4回楽しく勉強をしています。

10月からはNHKのテキストを使い、基本的な中国語をマスターするのが目標です。会員は月2800円、非会員は3800円で受講できます。金曜日の夜7時30分から9時30分まで、JR八王子駅徒歩5分、クリエイトホール10階の第5講習室にて実施しております。詳しくは協会へお気軽に問い合わせ下さい。

協会事務所新設のご案内

9月2日マンションの一室を借り、事務所を新設致しました。従来は会長の自宅を事務所代わりにしており、何かとご不便をお掛けしておりました。JR 高尾駅と京王高尾駅から徒歩5分の場所で交通の便も良くなりました。どうぞよろしくお願い致します。

〒193-0834

東京都八王子市東浅川町 548-1

ドエル・クラ 209 号室

TEL(0426)69-1677

FAX(0426)69-1678

メールアドレス jyfa@jp.bigplanet.com

事務所新設に伴う事務員募集

事務所を新設したのに伴い事務のお手伝いを募集しております。お手伝いいただく曜日、時間などはご希望で結構です。

事務局員が週に2~3人交代でおりますのでお仕事はその指示に従っていただくだけです。

出来ましたら、パソコン、ワープロを使える方であればより歓迎します。電話応対、文書作成、書類・写真整理などが主な仕事です。本協会の活動に興味を持っていらっしゃる方からのご連絡を心よりお待ちしております。

プーアール茶を販売します

設立大会の記念品としたのが好評だったこともあり、協会として雲南名産のプーアール茶を販売致します。飲みつづけると体に脂肪をつきにくくし、血中コレステロールを下げるなどの効果があります。

100g あたり 600 円ですが、送料はご負担していただくことになります。何とぞご了承のほどお願い致します。お申し込みは電話、FAX、メールなどいずれでも結構です。販売利益の一部は教育支援金とさせていただきます。ご協力お願いします。

〔お詫び〕

前号でお知らせした10/8の旅行は日程の都合上中止となりました。

協会活動報告と今後の予定

- 7/6 世界平和女性連合主催チャリティーコンサートに会長招待を受け参加
- 7/15 日本・雲南聯誼協会役員会
- 7/19 『彩雲の南』創刊号発行
- 8/6~13 第一回雲南交流の旅
- 8/23 JAS八王子支店、国際販売グループの方と会長・桂理事が面談
- 9/1 中国語教室開講
- 9/2 事務所新設
- 9/12 中国領事館主催の懇親会へ会長出席
- 9/15 日本・雲南聯誼協会役員会
- 9/19 マカオ行政長官来日晩餐会へ会長出席



マカオ行政長官 何厚鏞氏と

- 9/22 八王子国際交流課と面談
- 10/3 本協会主催 昆明市副市長来日歓迎晩餐会 (池袋大福來にて)
- 10/22~11/1 雲南省府農業視察団来日歓迎晩餐会出席
- 11/8 日本・雲南聯誼協会サッカーチーム交流試合のため雲南へ教育支援学校の視察(会長)
- 年末 忘年会開催予定

次号の掲載内容(予定)

- ・教育支援について
- ・11月の協会サッカー訪問団雲南交流試合報告
- ・雲南教育支援学校視察報告
- ・忘年会のご連絡
- ・昆明市副市長来日晩餐会報告